

農村振興局長賞（団体の部）

丁寧な合意形成に基づき、多様な主体が一体となった地域ぐるみの鳥獣被害対策を推進。

かみのむら

上ノ村自治会獣害対策協議会

（代表者：山口 俊宏）

主な取組

三重県津市

丁寧な住民説明による合意形成に基づき、非農家等も含めた地域住民（平成27年11月：79戸）が一体となった対策の推進が実現。

国の交付金で整備した侵入防止柵（集落の周囲約8km）をデータベースで管理し、点検保守作業をシステム化。自治会の住民が総出で点検・管理を行う。

さらに、学生による狩猟免許の取得やパソコンとセンサーカメラを活用した被害対策、地元狩猟者による捕獲の指導、90歳近い高齢者による柵資材の内職作業など、世代を問わず活躍の場を提供。新技術も積極的に導入。企業のCSR活動による放任果樹の引き取りや休耕田の作付けも行われる。

こうした取組により、野生鳥獣の捕獲数の増加など、（平成25年度：57頭→26年度：114頭 1/ツ、1/カ、1/ハの捕獲数）対策の効果が現れ、被害金額の大幅な減少を実現。

（平成22年：448万円→27年：97万円 被害金額）

多様な主体が共存する地域における合意形成を基にした取組のモデルとして評価される。